

演題と抄録 2013/11/17 AOS Japan 例会

宝崎岳彦

演題：インプラント埋入4年後舌癌を発症した1症例

口腔癌は、全ての癌の1~2%と言われています。その口腔癌で最も多いのが舌癌、舌癌は、口腔癌の約60%を占めます。今回インプラント治療後4年後に舌癌を発症したケースに再度インプラント治療(上部構造再生)を応用し、咬合支持の回復により良好な結果が得られた一例を報告する。

田島 慶二 タジマデンタルラボラトリー

演題：旧義歯から新義歯へ

新しく義歯を製作する際、旧義歯から読みとれる新義歯への製作ポイント。デンチャーマージン(ニュートラルゾーン)を最大限に活用した上顎フルデンチャー。繰り返しこわれる下顎パーシャルデンチャー。その過程でおきた問題点。義歯製作のポイントと交えお話しします。

今宮圭太

演題 ストローマンインプラントの印象法と補綴の種類について

ストローマンインプラントには様々な印象法、補綴法が用意されています。シンプルで簡単な方法から複雑で難しい方法がありますが、それぞれの道具の特徴や便利な使い方の一部を紹介します。

柏井伸子 有限会社ハグクリエーション

演題：インプラントのメンテナンス これまでとこれから

「『機能性』回復から『機能性・審美性・社会性』回復へ」、昨今のインプラント治療に求められる患者さんたちからのニーズです。単純に長く生きているのではなく、健康寿命を延ばしアンチエイジングが取りざたされ、「若く元気で楽しく過ごしていきたい！」という高齢者が増えていきます。インプラントは、「入れられるところに入れる」時代から「より自然で快適なところに入れる」時代になりました。インプラント治療は、上部構造を装着した時が一つの区切りとなり、その時が最も良好な状態なのです。そのインプラントを、どうしたら長持ちさせることがで

きるでしょうか？少しでも長く、そして快適にインプラントによるリハビリテーションを楽しんでいただくためには、メンテナンスを担当する歯科衛生士だけの力だけでは不十分です。患者さんとのコミュニケーションを良好に維持するためには、歯科医師からの適切なアドバイスや受付の方の気働きなど、施設内のマルチパワーを集めて対応し、それを継続していかなければなりません。Team Task + Team Work = Team Performance より長く患者さんに寄り添い、各自のできる事をできる時にできる限り行えるような環境作りが求められています。みなさまと考える時間にできれば幸甚です。

大武志穂 さかきばら歯科

演題：フッ素とキシリトールについて

抄録 カリエス予防のためのフッ素とキシリトールについて、また当院において使用しているケア用品、薬剤について発表いたします。

昇 直美 柴垣歯科医院

演題：**Infection control training course in Sweden** に参加して

今年の夏、予防歯科先進国スウェーデンの研修に参加してきました。

そのご報告をさせていただきます。

大殿浩晃

EAO Dublin 2013 見聞録

例会のタイムスケジュール

会場：神奈川県歯科医師会館501号室 10時～17時

10:00～ 宝崎岳彦

10:20～ 田島慶二

休憩

11:00～ 今宮圭太

昼食（12:00～13:00）

13:00～ 15:00 特別講演 柏井伸子先生
休憩

15:00～ 大武志穂

15:30～ 昇 直美

休憩

16:00～ 大殿浩晃

16:00～ 企業案内（6分間／1企業）

- ①ストローマン ②大信貿易 ③デンツプライ
④TMS ⑤KTC ⑥松風

懇親会

『生香園』別館にて17:30ごろから2時間程度